

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 18 日

事務事業名		屋外広告物許可事務					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続	継続	事務事業No.	050203000778
		総合計画の施策名 0502 景観の良い住環境の保全					単独/補助	単独	所属課	060201 都市整備課
政策体系	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり					課長名		
	施策名	02	景観の良い住環境の保全					グループ	都市政策G	
	手段名	03	③景観の維持・向上					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	08	04	01	02	00	都市計画総務事業			
法令根拠	屋外広告物法、茨城県屋外広告物条例、茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例						単年度繰返し (平成17年度～)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例 (以下「県事務処理特例条例」という。)の規定に基づき、屋外広告物法及び茨城県屋外広告物条例 (以下「県屋外広告物条例」という。)の規定による許可事務等を行う。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・屋外広告物に関する相談の対応 ・許可申請書類等の審査及び許可 ・違反広告物への是正指導及び簡易除却 (必要に応じて県との協議を行う。)

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・屋外広告物に関する相談の対応 ・許可申請書類等の審査及び許可 ・違反広告物への是正指導及び簡易除却 (必要に応じて県との協議を行う。)	屋外広告物の新規許可件数	件	24.00	32.00	30.00	30.00	0.00
	屋外広告物の更新許可件数	件	534.00	544.00	540.00	540.00	540.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
屋外広告物	屋外広告物の許可件数		561.00	578.00	570.00	570.00	570.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
屋外広告物法及び県屋外広告物条例に規定する規制を行い、良好な景観を形成し、風致を維持し、公衆に対する危害を防止する。	屋外広告物に関する苦情件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	千円	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	243	445	300			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	-243	-445	-300			
		事業費計 (A)	千円	0	0	0			
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)				07年度事業費 予算 (千円)			
				合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	・屋外広告物に関する相談の対応 ・許可申請書類等の審査及び許可	・屋外広告物に関する相談の対応 ・許可申請書類等の審査及び許可	

事務事業名	屋外広告物許可事務	事務事業No.	50203000778	所属課	都市整備課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 県事務処理特例条例の施行に伴い、平成12年4月1日から開始された。平成27年2月15日に北海道札幌市で発生した看板落下事故を受けて、事故の未然防止の観点から国及び県より依頼があり安全管理についての調査を実施。全国的にも安全点検等による管理面強化の動きが高まっている。令和3年10月1日に桜川市の県条例施行規則の一部改正を行い、屋外広告物の更新時の点検について一定の資格を有する者に行わせることを規定し、また更新時に添付する点検に関する様式に具体的な項目を設けた。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 当市は、景観団体になっており、政策体系との整合は図られている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されているものを対象としており、妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 条例に基づき、適正に許可の処理を行っており、向上余地はない。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されており、廃止に係る影響は計り知れない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 現時点としては余地がないが、景観計画と連携の検討が必要と思われる。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 許可事務の処理については、ある一定以上の経験と裁量が伴うので、現状のままの形態を維持する。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 事務処理に係る手数料の徴収を行なっているので、公正・公平であると言える。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 本事務事業は、県事務処理特例条例で市の事務事業と規定されており「快適な暮らしのまちづくり」の実現を図る上で不可欠なものである。適度な効率性と有効性のバランスを考えた事業展開が望まれる。																			
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → ( <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 ) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ( <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 ) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×		×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×		×																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	--